

日刊 動労千葉

85. 1. 23

No. 1845

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）公衆）〇四七二（二二）七二〇七



動労千葉OB会会長 高対連として

今年もまたがんばっていききたい。退職して今年で十四年になります。年々、還暦に加えて十二年になりました。今年も年男でございます。動作も緩慢で、よだれをたらしながらという牛でございますが、まだまだ勤労意欲にはもえています。またいったん闘いにたつたなら、モーけないぞという気持ちもあふれております。

「分割・民営」とか大きな攻撃と直面しております今年も、また年金問題も、労働組合の組織力を崩そうとする敵の狙いに負けることのないよう、中野委員長の闘もとにしっかりと団結してねばり強くしつかりと闘いぬいていただきたい。旗びつらきのごあいさつとします。



動労千葉顧問弁護団 清井礼二氏

三の生き生きとした闘いの中から大切なことを学んできた。現在、多くの公判闘争を闘っているが、中でも「組合費公判」

砕は真の労働者の利益を守り組合民主主義粉を守る意味で重要であり、また反国鉄労働者キャンペーンの急先鋒たるサンケイ行新聞をぶったたく「サンケイ公判」が大詰を迎え、共に反動共をとことん追いつめてきている。私自身、弁護士生活の中で動労千葉の「81・3ジェット闘争」の闘いの現場の真只中にとびこんで労働者の強さとは何か、という事を身をもって学んできた。「60・3」はじめ国鉄大合理化攻撃と対決するこの八五年最大の闘いの中で、この経験を生かし結合して共に勝ち進んでいきたい。



全通東京空港支部書記長 岩本正治氏
政府・郵政当局は、三里塚二期強行着

工の計画のもとに、従来羽田で行っていた外国郵便業務を成田に移管し、「東京空港局の廃局」という大攻撃をかけてきている。国鉄と並び日本労働運動の戦闘の背骨を支えてきた全通労働運動、なかんづく三里塚を闘う労働組合の全通拠点に暴力的に破壊するこの凶暴な攻撃を絶対に粉砕しなければならぬ。三里塚、国鉄と固く連帯し、闘う全通労働運動の再構築をかけて三月廃局阻止の全力闘争を闘いぬく。共に進撃しよう。

闘って闘って、ただひたすら
闘いぬくことによるのみ、
ゆいゆいは生活と権利を守り、
反動をうち倒す。



「60・3」粉砕を突破口、決戦にこころを出す



閉会のあいさつ 山口副委員長

三月実力決起を突破口に、「3・24」五割動員貫徹、国鉄三里塚の85年決戦に断固としてうって出る。山口副委員長が動労千葉の鮮明な決意をもって「85年団結旗びらき」は大成功のうちに終了した。



- 支部対抗新春歌謡大会には、全支部・本部より12名が参加し、自慢のノドを競いました。支部・家族会・各界来賓を審査員に厳正なる審査の結果、以下の方々が入賞され、関川宰審査委員長より発表され、各々賞を獲得しました。
- <優勝> 成田支部・山倉広一「故郷は母のゆりかご」
 - <準優勝> 幕張「・内藤政美「他人船」
 - <第三位> 勝浦「・関寿「風雪流れ旅」
 - <特別賞> 佐倉「・平川和彦「浪花節だよ人生は」
 - <「」> 館山「・石井英雄「長良川艶歌」
 - <熱演賞> 千葉転「・岩瀬孝一「あけみという名で18で」

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！